

講演会「しまもとの近代化」



平成 29 年 6 月 3 日

久保直子氏（島本町教育委員会生涯学習課）

今回「しまもとの近代化」という演題で、年表にそってお話をさせていただきます。

慶応 4 年、明治元年（1868 年）に大阪鎮台が設置され、5 月に大阪府が置かれました。同じ年、山崎村はまだ京都府に属していて、広瀬・東大寺・高浜・桜井・大沢の各村は大阪府島上郡に属していました。明治 4 年に大阪府は住吉・東成・西成・島上・島下・豊島・能勢の 7 郡を管轄下に置き、山崎村と東大寺村の 41 軒中の 20 軒が京都府に編入されます。その後、山崎村、東大寺村は国境の争いを行い、明治 6 年には山崎村が大阪府の島上郡の所属となりました。

学校制度をみると、明治 6 年の学制発布により、梶原村の一乗寺本堂を借り入れて島上郡第 1 区 1 番小学校が開設されました。翌年には 2 番小学校となり、12 年の学区名廃止により、この 2 番小学校が広瀬小学校となり、同時に尺代小学校ができました。20 年には広瀬小学校が広瀬尋常小学校となり、25 年には尺代小学校を廃止して広瀬尋常小学校に編入され、30 年には尺代尋常小学校が設立されました。学校は、こうして年々によって名前が変わっていきました。

大阪府の全誌によると、29 年の 4 月 1 日に島上郡と島下郡が合併して三島郡となり、島上郡の島本村は三島郡の島本村になります。これが最初の三島郡島本村です。

明治時代の島本村の発展というとまず鉄道です。明治 5 年に東京横浜間で鉄道が初めて敷かれ、明治 9 年、大阪～京都向日町間に鉄道が開通します。8 月には国鉄の山崎駅が出来ます。今の山崎駅舎は昭和 2 年に建設されたもので、非常に古い駅舎だと聞いております。

次に明治 43 年 44 年に、岩谷（東大寺）に内務省（現建設省）の採石場ができて、44 年には岩谷で淀川下流改修工事用の石材の搬出が始まります。淀川の下流の改修工事の搬出は大正 11 年に終了しますが、淀川の改修は非常に重要だということで昭和 47 年まで続けられました。その当時は岩谷の採石場、尺代から水無瀬川へむかってトロッコの架線が敷かれていたということで、島本にそういう風景があったんだという事を想像していただいたらと思います。

大正元年、農業協同組合の前身である、島本信用販売購買利用組合が設立され、2 年には今の商工会の前身の島本実業共栄会が結成されました。このあと島本村には電気が通るようになりました。10 年になりますと、山崎郵便局で電話交換始まり、商工会が設立されました。そして 12 年 13 年 15 年に大きく島本村の発展をみることができます。壽屋酒造山崎工場、大日本紡績株式会社山崎工場が島本町に工場を作ります。そのため、島本村の人口は大正の終わりから昭和の初期に渡って急増しました。特に女性の人口が急増しました。これを機に島本村は一気に工業化が進み、人口が増え、街に活気がでてきたのではないかと思います。役場に工場の税金が入ったり、多くの人々が引っ越しをしてきたという記事が、大正 15 年 2 月 17 日の大阪朝日新聞に載ったと島本町史に書かれています。この当時、山崎村の西国街道沿いは非常に賑わったというようなことを聞いております。

昭和に入ると、2 年、日紡霞ヶ丘社宅でき、3 年に山崎駐在所できました。新京阪鉄道が高槻～

西院間で開通し、大山崎駅が出来ました。9年には京阪電気鉄道上牧桜井ノ駅ができ、14年に京阪電気鉄道の櫻井ノ駅（現水無瀬駅）ができました。7年に国道171号線産業道路ができ工業化が進む中、交通機関の発達が島本村の大きな発展に繋がっていきました。

また年表に戻りますと、昭和11年島本小学校の校舎ができます。その後、大日本紡績山崎工場の結核療養所の「青葉荘」が建ち、12年に島本村役場の庁舎が完成しました。現在の島本小学校の体育館付近に建ったと聞いています。そして、昭和15年島本村が島本町になります。

昭和15年以降戦争が始まり、全国の小学校は国民学校と改称され、22年、国民学校は島本町立小学校に名称が変更されました。22年、島本町の巡回駐在所を廃止して同じ場所に、島本町警察ができました。同時期水無瀬にも駐在所が出来ました。

27年には町営住宅の建設が一気に始まり、塵芥焼却場が出来ます。28年に町立保育所ができ、30年に都タクシーが山崎駅で開業します。37年に淀川の渡しは廃止されましたが、バスやタクシーなどが充実し、工業化が進む中、大阪空港にも近いということで島本町が大阪近郊のベッドタウンとして、発展したということがわかると思います

32年に神宮外苑町営プールが出来ました。33年には山崎製樽工場、35年に水無瀬市場ができ、36年、積水化学工業の中央研究所が建設されました。37年、世界長ゴムが出来、46年まで続きます。38年には現在の大阪府立島本高校の場所にニチレイ・バークシャーが出来ました。これも47年までありましたが、今はなくなってしまいました。同じ時に名神高速道路の桜井のパーキングができました。39年、東海道新幹線が開通し、住友特殊金属ができ、40年にエースコック大阪桜井工場、島本センター、水無瀬郵便局と次々施設や工場が出来ました。42年には大沢のキャンプ場ができ、日紡の子会社として独立したユニチカリネンサプライが出来ました。43年に、公衆電話が登場し、町章が制定されました。44年には青年の家ができます。これは平成13年の3月に廃止になってしまいました。46年、町立幼稚園が開園し、トップパンムーアが桜井に出来ました。47年、清掃工場や、大藪浄水場ができ、みなせボウルが出来ました。また、町の住民センターの竣工式を行うところで、町の木として「楠」を、町の花として「やまぶき」が制定されました。48年に島本町役場、中央公民館、住民ホールができ、住民センターとなつたようです。中央公民館そのものは平成12年に廃止されて、住民ホールは平成27年取り壊しになりました。48年は、グンゼ物流センターが開業します。あとは、新大阪ゴルフ場が出来て、サントリーの中央研究所も出来ました。49年、島本高校や町立キャンプ場が出来ました。51年には万代百貨店水無瀬店が出来まして、みなせボウルが無くなってしまったダイエー水無瀬店が開店しました。52年には摂津信用金庫が広瀬から水無瀬に移転し、53年に摂津信用金庫の建物を利用して町立図書館が出来ました。今は教育センターになっています。消防庁舎が完成して、水無瀬にあった消防署出張所が閉鎖されました。

以上、このように工業化が進んだことによって人口が増え、鉄道が敷かれ、駅が出来ることで島本町が非常に発展していきました。その発展は島本の歴史の中で外せない事となっています。

今回の展示は、昔の島本を知って頂きたいと思い、また古くからここにおられる方々には島本町の再確認をして頂ければと思い企画しました。昔を知る事でこれから島本町をどうしていったらいいのかを考えるひとつのきっかけになればと思っております。皆さんいろいろな意見や資料を提供して頂くことで、次の新しい展示に繋がっていくのではないかと思っております。島本町の展示等々を充実させていきたいと思っておりますので何卒ご協力のほど宜しくお願ひします。